

ミセス・ハリス、パリへ行く (2022)

MRS. HARRIS GOES TO PARIS

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 115分

初公開日 2022/11/18

公開情報 パルコ ユニバーサル映画

【解説】

ポール・ギャリコの同名ベストセラーを「ファントム・スレッド」「すべてが変わった日」のレスリー・マンヴィル主演で映画化したコメディ・ドラマ。憧れのディオールのドレスを手に入れた一心で必死にお金を貯め、たった一人でパリに旅立ったロンドンの家政婦ミセス・ハリスが、いくつもの試練に直面しながらも決して諦めることなく、様々な出会いを重ねながら夢に向かって突き進んでいく冒険の行方をハートウォーミングに描き出す。共演はイザベル・ユペール、ランベール・ウィルソン、リュカ・ブラヴォー、ジェyson・アイザックス。監督はドキュメンタリーを中心に活躍し、長編劇映画はこれが3作目のアンソニー・ファビアン。

1957年、ロンドン。夫を戦争で亡くした家政婦のミセス・ハリスは、ある日働き先の家で1着の美しいドレスと出会う。それは、彼女にとっては驚くほど高価なクリスチャン ディオールのドレスだった。しかし、そのドレスにすっかり心奪われたミセス・ハリスは、絶対にディオールのドレスを買うと心に決め、どうにかお金を工面すると、たった一人でパリへと向かう。しかしようやく訪れたディオールの本店では、オートクチュールを注文しに来たお客と思われず、マネージャーにまるで相手にしてもらえないミセス・ハリスだったが…。

【クレジット】

| | | |
|-------------|---------------|----------------------|
| 監督 | アンソニー・ファビアン | Anthony Fabian |
| 製作 | アンソニー・ファビアン | Anthony Fabian |
| | ザヴィエル・マーチャンド | Xavier Marchand |
| | ギヨーム・バンスキー | Guillaume Benski |
| 製作総指揮 | フィリップ・カルカソンヌ | Philippe Carcassonne |
| | ベアタ・サブーヴァ | Beata Saboova |
| | リマ・ホートン | Rima Horton |
| | ジェン・ゴートン | Jen Gorton |
| | イルダ・ディフリー | Ilda Diffley |
| | レスリー・マンヴィル | Lesley Manville |
| 原作 | ポール・ギャリコ | Paul Gallico |
| 脚本 | キャロル・カートライト | Carroll Cartwright |
| | アンソニー・ファビアン | Anthony Fabian |
| | キース・トンプソン | Keith Thompson |
| | オリヴィア・ヘトリード | Olivia Hetreed |
| 撮影 | フェリックス・ヴィーデマン | Felix Wiedemann |
| プロダクションデザイン | ルチャーナ・アリギ | Luciana Arrighi |
| 衣装デザイン | ジェニー・ビーヴァン | Jenny Beavan |

編集
音楽
出演

| | |
|--------------|------------------|
| バーニー・ピリング | Barney Pilling |
| ラエル・ジョーンズ | Rael Jones |
| レスリー・マンヴィル | Lesley Manville |
| イザベル・ユペール | Isabelle Huppert |
| ランベール・ウィルソン | Lambert Wilson |
| アルバ・バチスタ | Alba Baptista |
| リュカ・ブラヴォー | Lucas Bravo |
| エレン・トーマス | Ellen Thomas |
| ローズ・ウィリアムズ | Rose Williams |
| ジェイソン・アイザックス | Jason Isaacs |